

心のなの花たより

特定非営利活動法人千葉県精神保健福祉協議会会報 題字 松本 睦
〒260-0012 千葉市中央区本町 3-1-16 CID ビル内 TEL/FAX 043-227-4670
URL: <http://chiseikyo.mdn.ne.jp> Email: chiseikyo@honey.ocn.ne.jp
第68号 2018年 11月号

リレー 巻頭言 『千精協のあゆみ』

「皆さんお世話になりました！！」



NPO法人千葉精神保健福祉ネット理事長 千葉県精神保健福祉士協会理事 近藤 昭子

私は（一社）千葉県精神保健福祉士協会から派遣されている理事でした。現在2名(堀池理事、安藤理事)が当協会から理事会に出席しております。一方、私は当協会と大変紛らわしい名称ですが、精神障害を主たる対象として松戸市・市川市・鎌ヶ谷市の3地域で福祉サービス事業を行っている団体の長をしております。

今回、平成30年の総会で、高齢であることや副会長職が10年以上になったことを理由に、千精協の副会長及び理事を退任させて頂きました。まだ私よりも上の方がおられるのに申し訳ないのですが、夜間に京葉道路を30分以上高速で走り続けることに恐怖を覚えるようになりました。長きに亘り理事の皆様には支持して頂き有難うございました。心から感謝申し上げます。

私は、平成17年頃に副会長に就任していると思われまます。千精協は平成18年に任意団体から特定非営利活動法人に移行しておりますから、結成当時の副会長となります。当時、千葉県PSW協会の会長をしていた関係や、“心の健康フェア”の実行委員長等を引き受けた関係での副会長就任でした。“心の健康フェア”や“心の健康フェスティバル”の実行委員長を引き受けた人は副会長にという時代でしたから、色々な要素が絡んでの就任だったように思います。また女性委員を増やそうという時代の流れもありました。

思い起こすに、いつ頃からか千精協を構成している団体から“心の健康フェア”や“心の健康フェスティバル”の実行委員に派遣されるようになりました。仲間と一緒に演芸大会の景品の買い物をしたり、相談会の相談員等を引き受けたりして、他団体の方々ともお話することが多くなりました。結果たくさんの人たちと出会いました。

一番記憶に残っている思い出は“心の健康フェア”を全国大会版で行った時のことです。この時の大会当日には千葉県より堂本知事が出席して下さり、さらに銚子からは太鼓や踊りのグループが大漁踊りを披露して頂いた

ように記憶しております。会場も幕張メッセのイベントホールでした。基調講演はどなたにお願いしたのだろうかと考えるのですが、思い出せません。全国から来られる方々を接待していて、緊張してゆっくり講演会を聞くことなど出来なかったのではと思います。しかし成功の裡に終わりました。

今回11回目を迎える「地域移行セミナー」の実行委員も初回から参加してきました。この事業は、当初は千葉県の強化事業として助成金等出ておりましたが、現在は千精協の単独事業です。先進的な取り組みを紹介する基調講演、そしてシンポジウム開催と盛りだくさんではありますが、長期入院の患者様を地域に退院させようとする熱意を一緒に感じられる場です。継続は力なりです。

一つ心残りがあります。千精協の財政状況が不安定であることです。認定NPO団体に移行することで寄付者を募りたいと考えたのですが、要件がいろいろあり、事務員の負担もあり、理事さんに納得できる資料の提出が出来ませんでした。社協への指定寄付(千精協へ)も難しい時代になっていますので、自力で財政対策を考えることが必要です。後任の財政担当者をお願いすることになります。申し訳ありませんがよろしく願いいたします。

私はこの仕事をしている限り千精協を応援します。千葉県の精神障害者に関わっている団体が一堂に会し、そして一緒に事業を行う事で交流が生まれます。この関係を大切に、切磋琢磨して千葉県の精神医療、保健、福祉分野をより良くしていきたいと思ひます。

理事さん達のご健康、ご活躍、そして千精協の発展を一会員として、これからも見守っていきます。



第29回 “心のふれあいフェスティバル” 報告

実行委員長 木村 直人



平成30年5月16日、第29回「心のふれあいフェスティバル」が開催されました。

テーマは「Are You Happy?」でした。

千葉市中央公園では青空パフォーマンスに15団体が参加され、カラオケやバンド、合唱などが披露されました。



<中央公園展示テント>





<文化センター舞台発表>

受付者数は815人と例年より少なかったですが、受付をせずに参加された方が多かったのだと思います。

以前、1800名が参加された時と、会場の込み具合はあまり変わりありませんでした。127名のスタッフの方にご協力をいただきました。

救護者は1名で、テント撤収時に額にけがをされた方です。行方不明者もなく終了しました。

多少風の強いときはありましたが、何よりも晴天の下開催できたことは大変良かったと思います。

これだけの規模のイベントを39万円の予算で行えることは、実行委員や号実スタッフの皆さまのおかげであると思っております。それだけに、お弁当はせめておいしいものと思うあまり、今回私の手違いで到着が大変遅れてしまいました。しかし、皆さまのご協力で大きな混乱に至らず終了しました。

大変感謝いたします。ありがとうございました。



千葉市文化センターでは、演芸大会が行われ、15団体がダンスやカラオケ、合唱などを披露しました。心のよろず相談は2件でした



<中央公園青空パフォーマンス>

会費納入のお願い

現在、当会は2つの県の委託事業を行い、自主事業として「精神障がい者地域移行支援セミナー」を実施しております。

国は今、医療・福祉の在宅化を強力に推進しようとしておりますが、精神科領域ではその推進が特に遅れることが懸念されております。

このような状況で、地域住民の皆様への啓発活動、専門家集団の連携等が強く望まれており、当会への期待が一段と高まっており、私どもも責任を痛感しております。

ボランティア団体の80%は事務局の運営が維持できなくて活動を停止せざるを得ないのが日本の現状です。このような状況をご理解の上ご支援の程、よろしくごお願い申し上げます。

NPO 法人千葉県精神保健福祉協議会 会長 日下忠



編集後記

自主事業である地域移行支援セミナーでは、皆様方のご支援とご寄付により資金調達でき、充実したセミナーが開催されました。改めて感謝申し上げます。

また、心の健康フェアでは、いろいろ制約のある中で工夫され開催されました。作品展示会場では当事者のお客様対応が丁寧でいつも感心しています。表彰受賞者の皆様、改めておめでとうございます。

皆様方の暖かいご支援を引き続きお願い申し上げます。

編集担当理事 近藤龍雄